Library News
京教図書館
ニュース
2016年3月号 No.186

『何のために「学ぶ」のか』
ちくまプリマー新書 中学生からの大学講義Ⅰ
桐光学園＋ちくまプリマー新書編集部・編
外山滋比古／前田英樹／今福龍太／茂木健一郎／
本川達雄／小林康夫／鷲田清一（著）
筑摩書房, 2015年 ISBN：9784480689313
《購入手続き中》

私のすすめるこの1冊

位藤 紀美子（本学 学長）

『何のために「学ぶ」のか』（中学生からの大学講義Ⅰ）

桐光学園＋ちくまプリマ―新書編集部・編
外山滋比古／前田英樹／今福龍太／茂木健一郎／本川達雄／小林康夫／鷲田清一 （著）

「学ぶこと」の意味を自らに問うために

「学ぶことの意味はなんでしょうか」― これまで、「自分（人）は、なぜ学ぶのか」という疑問を抱いたことはありませんか。もし、自分の担当する児童・生徒に尋ねられたら、どう答えられますか。

かつて社会の状況や家庭の事情等で教育を受けることが容易でなかった頃には、「学ぶこと」にその人なりの明確な意味がありました。学ぶことにより新たな世界が開け、自分の可能性に挑戦する機会を得て望みを実現することができるとか、自分ができるようになったことを他の人や社会に役立てることで喜んでもらいやりがいを感じることができるとか。近代化の歩みの中で、義務教育が推進されてきた結果、今日、日本では、誰もが学校教育を受けることができ、学ぶことが「当たり前」になり、改めてその意味が問い直されてきています。

2014 年（平成 26）ノーベル平和賞を受賞したマララ・ユスフザイさんは、自らの衝撃的で悲痛な体験をもとに、すべての子どもたちの明るい未来のために、学校と教育を求めて、「1人の子ども、1人の教師、1 冊の本、そして 1 本のペン、それで世界を変えられます。教育こそがただ一つの解決策です。」（国連本部での演説）と世界中の人に訴えました。この痛切な訴えにより、世界には、貧困や紛争等のため、学校もなく、教育を受けられない多くの子どもたちがいることを知るとともに、日本では、学校に行くことは当たり前でも、そこで学ぶ目的や自覚が薄れてきているのにも気づかされます。

現在、学校教育も複雑で多様な課題を抱えており、その中には、人間関係や家庭の事情等で学校に通えない児童・生徒への対応もあります。そうした中で、自然をも含め地球規模で世界全体が急速に変動し続け先が予想しがたい現状を切り拓くために、「生涯学び続ける力」を付けることが初等・中等・高等教育のすべてを通しての課題になっております。自ら主体的に考え判断し、言動に表し、周りの人々と協働して解決する力を付けるには、まず、学ぶ喜びや、考える楽しさを実感することが大事です。教師自身がそうした場を数多く体験することがこどもたちの学びを拓くことに繋がると考えます。とりわけ、読書は、対話と思索の場として、「知の世界」を存分に楽しませてくれます。

本書を含むこのシリーズは、改めて「知を拓くこと」について、中学生以上を対象に刊行されていて、自分なりに考える機会をあたえられます。

わくわく Kyo2 ライブラリー

読書キャンペーンが終了しました！

館長賞は
後日発表されます！
お楽しみに！！

　2016 年２月 17 日(水)で読書キャンペーンの受付を終了しました。
チャートやコメントを提出してくれた学生のみなさん、ありがとうございました！

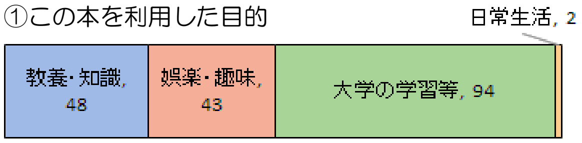
★賞品の引き替えは３月 25 日(金)までできますので、ポイントカードを持って事務室まで来てくださいね。

参加状況速報！

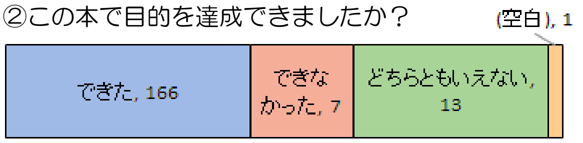
ポイントカード配布枚数：約 600 枚（返却時配布）
ブックチャート提出件数：187 件
読後コメント提出件数：71 件
２月 22 日現在の賞品引換済ポイント：累計 459Pt

ブックチャートの集計結果

①この本を利用した目的



②この本で目的を達成できましたか？



目的では「大学の学習等」が約半数を占めました。
勉強したついでにグッズをもらえるので一石二鳥！
目的が「達成できなかった」「どちらともいえない」を選んだ人の理由も、しっかり書かれていて興味深いです。

分類別・配置場所　集計

チャートやコメントが書かれた本はのべ 258 冊！
みんな、どんな本を読んだのでしょう？

■開架や書庫等（分類別に集計）
■その他の配置場所

学修相談カウンターは３月下旬から再開予定です

　昨年 10 月から開始した学修相談カウンターは、春休みのためお休み中です。３月下旬から再開予定ですので、ぜひお立ち寄りください。今回は、相談カウンターで回収したアンケートの結果をお知らせします。（全相談件数：25 件、相談人数：27 名、アンケート回答数：16 名）

相談内容

授業対策	1
苦手対策	3
教採対策	6
なんとなく	1
その他	5

相談結果

満足	12
やや満足	4

回答者全員が
「また相談したい」と
答えてくれました！

学科

教育学	2
発障	1
国語	1
数学	1
理科	6
家庭	1
音楽	2
教職大学院	1
研究生	1

学年

１回	2
２回	1
３回	9
４回	1
M1	1
研究生	1
不明	1

気軽に相談してくださいね！

卒業・修了予定の方へ

1．貸出期間の延長

卒業・修了予定の方の貸出は 2016 年３月 10 日(木)までとなっています。それ以降も貸出を希望される場合は、所定の手続きを行うことにより、2016 年３月 25 日(金)まで延長できます。カウンターでお尋ねください。

2．卒業後も図書館を利用される場合

卒業生利用者としてご利用いただけます。卒業後の利用案内および利用証の申請書は卒業式（修了式）で配布し、当日から利用証を発行できますので、ご希望の方はお申込みください。なお、卒業後は本学の学生と利用条件が一部異なりますのでご注意ください。

※2016 年３月末に卒業・修了しない方で、貸出中の図書の返却期限日が３月 10 日(木)になっている方は、2016 年４月 14 日(木)に変更されます。図書館への申出は不要です。

表彰されました！

幼児教育科（平井研究室）が実施している「うたとおはなしの会」や毎月の読み聞かせ会「えほんのもり」（附属図書館共催）が、京都市の「子どもを共に育む京都市民憲章（愛称：京都はぐくみ憲章）」の実践推進活動として認められ、表彰されました。
平成 28 年２月 27 日(土)に京都産業会館にて表彰式が行われました。
※詳しくは京都市のホームページにて http://hagukumi2525.kyoto.jp/

えほんのもり（場所：児童書コーナー）

今月の読み聞かせ会は、
３月 28 日（月）15：00～ です。

今月の絵本カードはこちら！

『ちょうになったぞう』
佐々木マキ：作・絵

★あらすじ★
きれいな蝶になりたい象がいました。カメレオンのおじいさんに教えられた通り、お花畑に寝転んで「ちょうになりたいぞう」と５回唱えると･･･象は蝶になりました。しかしある日、ものめずらしさにひかれた人間につかまってしまいます。

※絵本カードは幼児教育科の学生が作成しています。このほかにも毎月かわいいカードが飾られていますので、ぜひ児童書コーナーに見に来てください。

春季休業に伴う長期貸出について

学部生：１月28日（木）～3月30日（水）
院生･教職員：１月14日（木）～3月16日（水）
【返却期限日】2016 年4月14日（木）
※卒業・修了予定者は３月 10 日(木)まで
※視聴覚資料を除く

ご退職･ご転出予定の方へ

本学教職員の方の利用証は在籍期間に限り有効です。ご退職・ご転出予定の方は在籍期間中に本をご返却ください。なお、今後も一般利用者として附属図書館をご利用いただけます。※一部利用条件が異なります

Pick Up コーナー「文庫」

南館２階にある文庫コーナーでは、古今東西の文学を集めた岩波文庫、最近の小説も読める新潮文庫、教養を深める岩波現代文庫や岩波同時代ライブラリーなどを継続受入しています。暖かくなってくる３月、かばんに文庫本を入れて出かけてみてはいかがでしょうか？

こんな本を PickUp！

新潮文庫
『レインツリーの国』
有川浩著　請：SH-1/A71/09

岩波文庫
『カラマーゾフの兄弟（第１巻）』
ドストエーフスキイ著　請：IW/32-614/9

岩波現代文庫
『心理療法入門』河合隼雄著　請：IWG/G225

※請＝請求記号。
新潮文庫は著者記号順、
その他の文庫はシリーズ番号順に並んでいます。

図書館員のつぶやき(13)「中庭」

冬の間はほとんど人がいなかった図書館の中庭も、春が来て暖かくなればまた活躍するのではと期待しています。ランチやおしゃべりにぜひどうぞ。
中庭にはベンチとテーブルがありますが、風雨にさらされて色がはげていたところをなんと学生課長がきれいに塗りなおしてくださいました！ありがとうございました。

教育資料館 まなびの森ミュージアム

今月の逸品「卒業式訓辞」

詳しくはホームページの「今月の逸品」コーナーをご覧ください。展示をしていますので、ぜひミュージアムへ来てくださいね！

詳しくは･･･教育資料館 まなびの森ミュージアム
http://manabinomori.kyokyo-u.ac.jp/manabinomori.html

論のくちび 理のむすび

京都教育大学紀要（大学発行の学術雑誌）に掲載された論文を、執筆した先生本人にご紹介いただくコーナーです。

今回の執筆者 **武島 良成**（社会科学科 准教授）

沖縄県座喜味城跡陣地の日本軍

武島 良成

京都教育大学紀要. 2015, No.127, pp. 27-41

2008 年の「琉神マブヤー」（第 1 シリーズ）の第 8 話に、主人公のマブヤーと、悪の軍団マジムンの首領・ハブデービルが、座喜味城跡で戦うシーンがあります。「マブヤー」では、この回を境に、「力に頼ったり、怒りで戦ってよいのか」という主題が前面に出てきます。そして、最終回まで、メッセージ性の高い話が連なります。曲面を描く石垣や、眺望の美しさだけでなく、物語の転換点になったことでも、この回は印象的です。

さて、本稿の舞台である座喜味城跡陣地は、まさにこの場所にありました。マジムンたちがたっぴらかされた二の郭は、高射砲の弾薬庫があったところです。もともとこの論稿は、70 年前にここで何が起こったのか、自治体史だけでは掴みきれなかったので、自分で調べてみたものです。同地の部隊は、米軍上陸の直前に南部に撤退したこともあり、極限状態の時期については詳述していません。それでも、文化遺産（座喜味城跡は 2000 年に世界遺産に登録）の破壊、住民との軋轢、米軍に対する空しい努力など、考えさせられる問題を含んでいると思います。

また、論稿には書いていませんが、①常に「日本精神」を振りかざした日本軍、②軍民を容赦なく攻撃しつつ、状況によってフレンドリーに振る舞った米軍、③敵（マジムン）をも沖縄の大切なものと考えたマブヤーを、つい並置させたくなってしまいます。もちろん、時代が違いますし、「マブヤー」はフィクションなので、単純比較はできませんけれど。

余談ですが、10・10 空襲の後に高射砲隊が移動した入原（イリバル）には、現在、花織（ハナオリ）工房があります。この工房は、「琉神マブヤー外伝　ＳＯ！ウチナー」に出てきます。アメリカ軍が上陸した「グリーン 1」の浜辺や、そこから崖を登った所にある「むら咲むら」も、何度も「マブヤー」に出てきます。「むら咲むら」から東に進むと、すぐにチビチリガマに至ります。本当に、いくさ・ふぃーわ・文化・自然・ヒーローのチャンプルーです。

※本タイトルの論文は京都教育大学紀要 127 号に掲載されています。
※京都教育大学リポジトリ「クエリ（KUERe）の森」http://ir.kyokyo-u.ac.jp/dspace/にも公開されています。

開館日程　□9:00-21:00　■9:00-17:00　■休館(CLOSED)

2016年3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

3/2 館内整理日
3/12 後期入試

2016年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

4/12 前期授業開始

●京都教育大学附属図書館ホームページ
http://lib1.kyokyo-u.ac.jp/

●携帯版図書館ホームページ（QR ｺｰﾄﾞ→）
http://tosho02.kyokyo-u.ac.jp/webopac/mobtopmnu.do

京教図書館 News No.186（2016 年 3 月号）
発行日：平成 28 年 3 月 1 日
編集発行：京都教育大学附属図書館
問い合わせ先：library@kyokyo-u.ac.jp

京都教育大学